



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

上場会社名 ラサ工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 庄司 宇秀
(コード番号 4022)
問合せ先責任者 経理部次長 桐山 知之
(TEL 03-3278-3892)

平成 29 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 12 日に公表しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想値と、本日公表の同実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,500	1,300	1,000	1,700	21.44
実 績 値 (B)	23,283	1,622	1,342	1,729	21.81
増 減 額 (B-A)	△1,217	322	342	29	
増 減 率 (%)	△5.0	24.8	34.2	1.7	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	24,597	1,683	1,226	662	8.36

2. 差異の理由

当連結会計年度における日本経済は、中国・新興国経済の停滞に加え、米国の政権交代や欧州の政情不安並びに東アジア、中東などの地政学リスク増大を抱えながらも、米国景気の緩やかな回復が続いたことや、国内における企業収益や雇用環境の改善などから、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような環境の中、化成品事業は、国内外の半導体向け高純度磷酸の販売が好調であったことから損益は予想より大幅に上回りました。機械事業は、下水道関連の海外向け掘進機の販売について為替の影響などから利益率が低下したことや、破碎関連機械に見込んでいたリサイクル及び除染関連装置の販売延期があったことなどから、収益が予想を大幅に下回りました。電子材料事業は、化合物半導体向け高純度無機素材が、高純度赤燐、液晶向け塗布剤などの販売好調により損益が予想を上回りました。また、石油精製用触媒の再生事業の損益も予想を上回りました。

このため、前回業績予想に対しまして上記のような差異が発生いたしました。

以 上